

すぐに暖かくなる簡単装着のシートヒーターは魅力的

ToFit オンオフシートヒーター

価格：9800円(1座席分)
1万4800円(2座席分)
① ツーフット ☎045-250-0350
http://www.to-fit.co.jp

シガーライター部から電源を取ればOK。スイッチを入れると赤く点灯して作動を確認できる。発熱シートには温度センサーが付いているので、熱くなり過ぎることはない。



シートに装着するイメージ。座面と背面の2箇所に発熱シートを設置する。シートの中に入れてしまうと、分解しなくてはならないので、シートカバーの内側に入れるのが手軽だと思います。

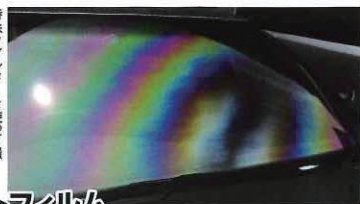


真冬の寒い車内では、一刻でも早くヒーターが効いて欲しいもの。しかし、いくら強力なヒーターを搭載したクルマでも、エンジンをかけた直後はヒーターが効かない。そこでオススメなのが、スイッチを押すだけで瞬間に暖かくなるシートヒーター。高級車なら付いているけど、一般のクルマじゃ……。いえいえ大丈夫です。ツーフットが扱っているオンオフシートヒーターは、完全な後付タイプ。しかも、基本はシガーライターソケットから電源を取るシンプル設計。スイッチを入れるれば即暖かくなる。この冬、是非付きたい一押しアイテムだ。

ツーフットのオンオフシートヒーターは、とてもシンプルを構成。基本はただ電源を取るだけで、即暖かくなる。

断熱フィルムは夏だけでなく冬でもバッチリ効果あり！

特殊フィルムを使って撮影する、通常では目に見えないフィルムの断熱層が見える。これが暑さだけでなく、寒さも防いでくれるのだ。



DMC IRカットフィルム

価格：3万2250円～(中型車マークIIクラス、フロントのみ)
4万8300円～(中型車マークIIクラス、フロント+フロントサイドセット)
※施工箇所、面積により施工料金が異なりますので、お近くの加盟店にお気軽にお問い合わせ下さい。
① ダイワみくろチェーン本部 ☎0120-379686
http://www.daiwa-mc.co.jp/

窓ガラスから侵入する熱線をカットして、夏場の車内温度の上昇を抑える効果がある。ダイワミナクルチェーンの熱線カット透明フィルム「IRカットフィルム」。実はこのフィルム、夏場だけでなく冬場でも効果がある。このフィルムを貼ってあると、車内に冷気が侵入しにくくなり、1度温まった車内の温度が下がりにくくなる。ちょうど保温ボトルのようなイメージだ。だから、ヒーターの温度をあまり上げなくても室内はポカポカ。また、真冬にエンジンを止めてしばらくしてから乗り込んでも車内の温度が極端に下がらない。冬こそ断熱フィルム。是非!

冬のドライブは、嫌い。という方もいるのではないか。その原因は、車内の寒さ、静電気のバチツというショック、窓の凍結、雪道の運転などいろいろあることだろう。でも、これらはその原因の元を解決できればいいことだ。そして、意外にその原因はささいなことで簡単に解決できたりする。そんな、あなたが探していたアイテムがこの中にあるかもしれない。さあ、見つけて、買って、冬ドライブをもっと好きになっちゃおう。

これさえあればもう冬ドライブは辛くない



ちよひつじつた装備で冬の車内は快適!

イラスト：高梨年光

買おうぜ!

冬ドライブ好化アイテム

写真：前田恵介、住吉道仁

静電気が発生しにくい天然素材のマットがおススメ



天然素材のシザル麻は、麻の中でも傑出した耐久性を誇る。また、防音、防炎、耐火性にも優れ、静電気がおきにくいのも魅力だ。

車内で人に静電気が帯電する最大の原因は、シート生地と衣服が擦れること。特に化繊同士だと、静電気が発生しやすく、ウールや綿などの天然繊維の衣服を身に着ていけば静電気がおきにくい。これは、車内に使われているアイテム全般に言えること。例えば、フロアマットも天然素材のものを選べば静電気がおきにくい。カロのシザルマットは天然シザル麻を採用しており、静電気がおきにくいマットということで、TVで紹介されたこともある。厚さがあるフロアマットは、床面から侵入する冷気も防ぐので、冬場には2重で効果があると言える。

KARO シザル 新型プリウス用7点セット 価格：4万2800円
① KARO ☎03-3374-1955
http://www.karo1980.jp



特殊染色技術により、鮮やかなカラーを再現。車内が実際にカラフルになるのを感じよう。

バチツとくる静電気は3方向から除去せよ

セイワ LEDライト アースキーホルダー 実勢価格：980円
スリムタッチアース 実勢価格：892円
セイデンキトール 実勢価格：840円

(上記商品はすべてオープンブライス)
① セイワ ☎047-420-0755 http://www.seiwa-c.co.jp
冬場、乾燥する時期になるとイヤなのが、バチツとくる静電気。この原因は、簡単に言えばクルマと人に帯電した静電気がお互いに接することで放電するからだ。これを解決するには、お互いに帯電した静電気を放出してやることだ。人に帯電した静電気は、まずクルマに乗り込むときと、降りるときの高角度が考えられる。静電気を除去するアイテムを、車外用と車内用で用意するのがいいだろう。また、クルマに帯電した静電気を除去する方法でベターなのは、地面に常にアースしてあげることだ。昔からある、静電気除去用のベルトを付けるのが効果的。この3つを備えて、今年の冬はこの嫌な静電気の「バチツ」とおさらばしようじゃないか。



LEDライト アースキーホルダー



スリムタッチアース



セイデンキトール

クルマに乗り込むときに帯電した静電気を減少させる。LEDライトが作動することで静電気を除去し、LEDが青く光って作動を確認できる。電池なので、LEDキープライトとしても使える。便利だ。

クルマから降りるときに車内で帯電した静電気を減少させる特殊繊維を配したプレート。これに触れるだけでクルマから降りれば、ドアを開けると同時にバチツとくるショックを和らげてくれる。

クルマに帯電した静電気を地面にアースするベルト。昔からあるタイプだが、最近のクルマにマッチするよう、別注で用意されているのでクルマシアンバーに装着できる。